

一般財団法人北海道バスケットボール協会
バスケットボール活動再開に向けたガイドライン
「第4版」

2021年9月30日

<はじめに>

新型コロナウイルス感染症の拡大によって本道に緊急事態宣言が8月27日(金)に発出され、その後9月30日(木)まで延長となっておりますが、10月1日(金)をもって宣言が解除され、スポーツ活動を含めた自粛が緩和されることとなりました。しかし、決して気を緩められる状況ではなく、活動再開にあたっては、コロナ感染症の収束状況に応じ段階的なプロセスを経て、順次実施していく必要があると思われます。

厚生労働省、文部科学省、スポーツ庁を始めとする行政機関より各種統括団体向けのガイドラインが策定されております。北海道バスケットボール協会は、「バスケットボール活動再開に向けたガイドライン第4版」を、日本バスケットボール協会「事業・活動実施ガイドライン(第4版)」に基づき策定致しました。感染予防や競技者・指導者に向けた活動のための準備、そして大会運営や観戦者も含め大会再開へのプロセスや基準を整理し、再開時における感染拡大、ケガ等の防止のための留意点をまとめたものです。

I ガイドライン策定の基本方針

1) 安全最優先

生命・健康と安全を最優先とし、感染拡大のリスクを排除した、選手・チーム、指導者、審判、運営スタッフ、それらの方々のご家族等が安全に活動できる環境を提供すること。

2) ガイドラインの見直し

コロナ感染症が収束し、「日常」が即座に戻ることは難しい状況であるということを前提に、行政などの情報ならびに関わる知見等の分析・理解に基づき適宜ガイドラインの見直しいたします。

II ガイドラインの運用方針

- ① 活動再開のプロセスには段階的なアプローチが不可欠であることを再認識する。
- ② コーチングのサポートを最小限にして個々の選手が自主的にトレーニングに取り組む機会を提供する。
- ③ 少人数のグループに分かれて距離やエリアの割り当て、密を避けるトレーニングの機会を創出する。
- ④ 公的機関により、大多数の個人が集まることを制限される可能性もあり、観客の参加を禁じることも留意する。

III 事業別活動方針

実際のバスケットボール活動と競技会・講習会事業で判断基準を分けて考えます。活動・競技会の可否判断では、感染拡大防止及びケガ防止(選手のコンディション)の2点を考慮する必要があります。

IV 感染拡大防止方針「第4版 追記事項」

- ① JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)ならびにHBAより発出される関連ガイドラインに基づき、競技大会毎に「大会感染対策ガイドライン」を策定し、周知徹底してください。
- ② 活動再開は、段階的ステップを踏み競技会開始前迄に参加予定される各チームが、原則「3週間程度(時間≒25時間の段階的活動)」の練習が実施されたことを主催者が確認し、JBAガイドライン(第4版)【別紙1】イベント開催時の必要な感染防止策を徹底周知し、競技会を開催してください。
- ③ マスクの使用について
 - ・感染力の強いウイルスが増えていることから「不織布」マスクを推奨する。
 - ・活動中(競技会も含む)、マスク常時着用を希望する選手については着用を許可する。但し、活動中の着用は医療用や産業用のマスクではなく家庭用のマスク(布製、ウレタン製等)を推奨する。
- ④ 寒い時期になるが、窓を開けたり換気扇を利用したりして、常にまたは定期的に換気を行う
- ⑤ 競技会開始5日間前からは、自チーム以外との交流、対外試合は行わない
- ⑥ PCR検査・抗原検査について
 - ・競技会を実施するにおいて、スクリーニング目的にPCR検査や抗原検査を活用しない。
- ⑦ ワクチン接種について
 - ・ワクチン接種の副作用により、発熱・倦怠感が生じる可能性があり、コンディション低下に繋がることもあります。少なくとも競技会参加の1週間前には接種しないことを推奨します
 - ・競技会参加は、4日前(JBAガイドライン第4版参照)からの発熱の有無を確認しますが、この際に発熱が生じている場合にワクチン接種の副反応によるものか、感染によるものか区別がつかないため、発熱(37.5度以上目安)が生じていれば参加不可となります。
 - ・練習会などの活動前は必ず体育館等への入場前に体調の聞き取り、検温を実施し、発熱(37.5度以上目安)が生じていれば参加不可となります。

V その他

その他、感染防止対策は行政機関より発出されている情報を参照いただくようお願いいたします。